

阪神・淡路大震災の復旧復興事業

甚大な被害を受けた神戸港沿岸部の復旧を会社の総力を挙げて推進

1995(平成7)年1月17日、早朝5時46分淡路島北部を震源とするマグニチュード7.3の大地震が発生。神戸港は岸壁の大半が崩壊し、岸壁上の設備もろとも壊滅的な被害を受けた。当社は翌日から救援物資の運搬と被害状況の調査を開始し、全社から人員と船舶を集結させてこの震災復興に取り組んだ。神戸市は港湾設備の復旧に向けて神戸港復興計画を策定し、およそ2年間で復興を成し遂げたが、その間当社も積極的に参加し、岸壁上の大型荷役機械設備などの撤去除去、護岸の修復工事、橋梁の復旧、そして新たな大型荷役機械などの設置工事を行い、全力を挙げて神戸港の復興に貢献した。

ハーバーランド護岸復旧工事



護岸ケーソン復旧工事



アンローダー復旧工事



六甲アイランド橋 復旧工事